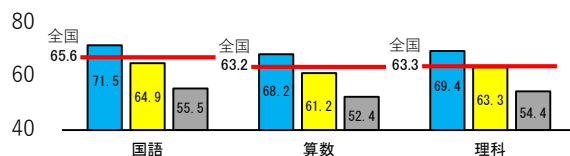
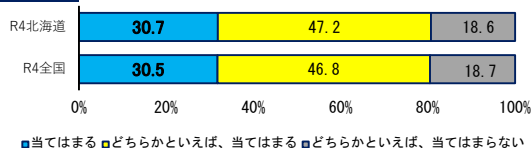


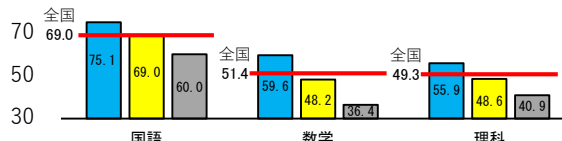
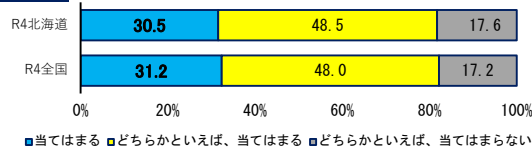
〔分析〕

「5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」（児童生徒質問紙）

児童

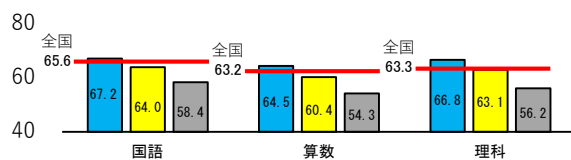
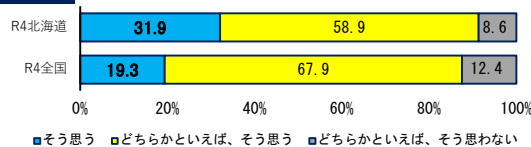


生徒

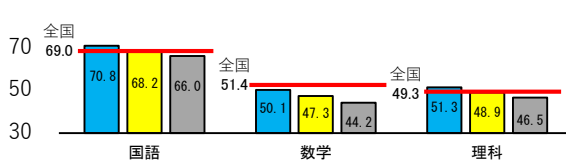
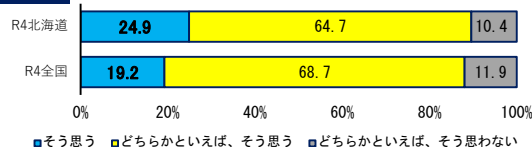


「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか」（学校質問紙）

小学校

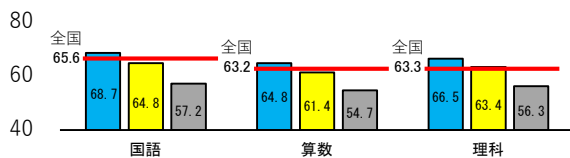
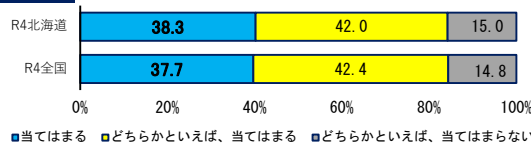


中学校

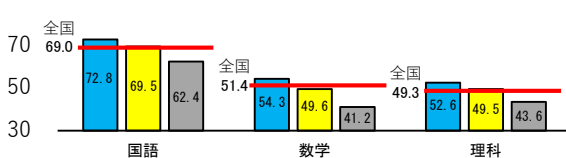
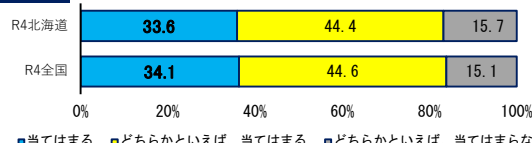


「学級の友達と〔中：生徒〕の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」（児童生徒質問紙）

児童

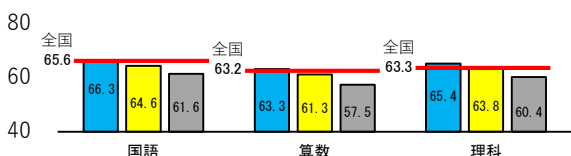
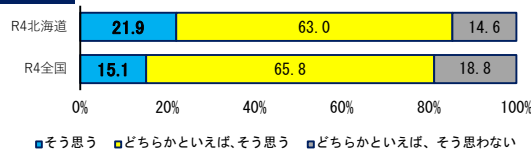


生徒

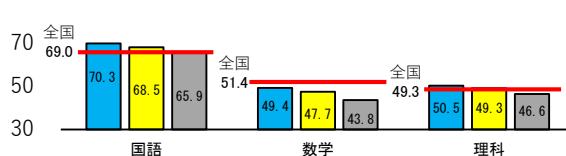
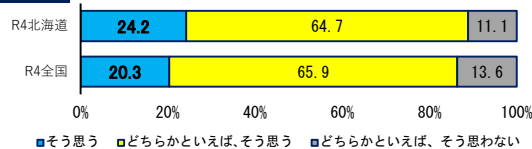


「調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」（学校質問紙）

小学校

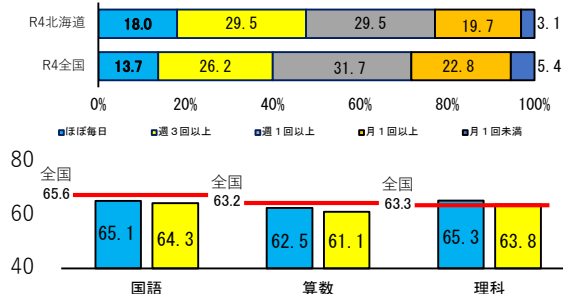


中学校

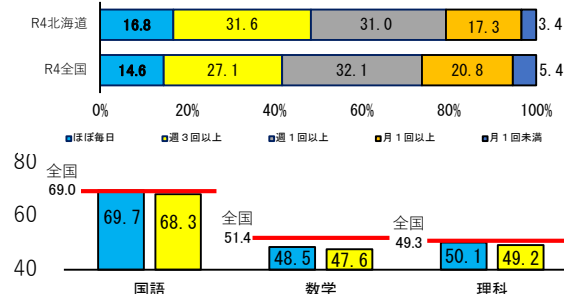


「児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童生徒一人一人に配備されたＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器をどの程度使用させていますか」（学校質問紙）

小学校

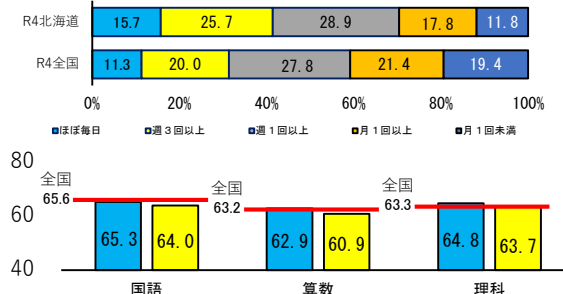


中学校

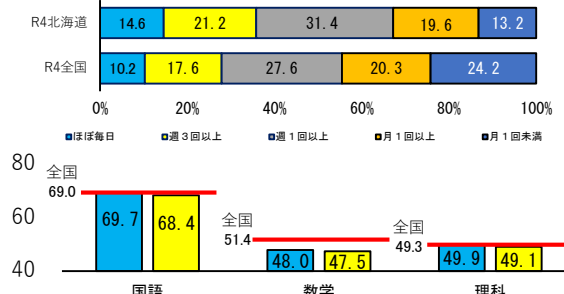


「児童生徒同士がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器をどの程度使用させていますか」（学校質問紙）

小学校

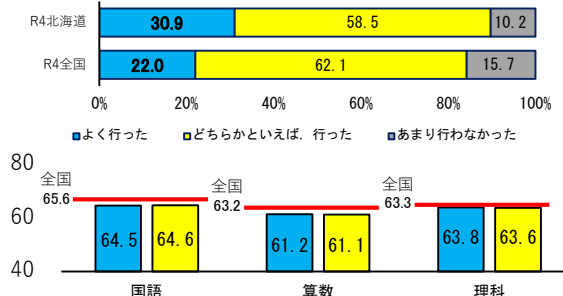


中学校

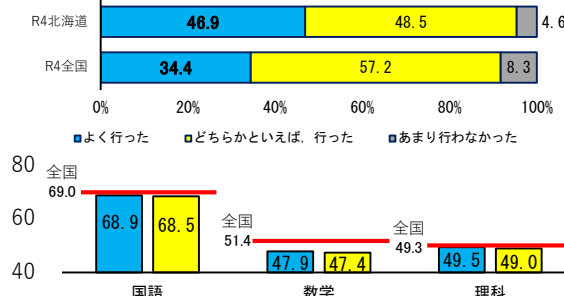


「評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組をしましたか」（学校質問紙）

小学校



中学校



〔分析から明らかになったこと〕

- 主体的な学びや対話的な学びに関する質問に肯定的に回答した本道の学校の割合は、小・中学校ともに全国に比べて高く、**このように回答した学校ほど各教科の平均正答率が高い傾向**がある。
- 児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面や児童生徒同士でやりとりする場面で1人1台端末を「ほぼ毎日」使用させたと回答した本道の学校の割合は、小・中学校ともに全国に比べて高く、**このように回答した学校ほど各教科の平均正答率が高い傾向**があるが、いくつかの教科で**全国を下回っている状況**が見られる。
- 評価規準や評価方法について組織的かつ計画的な取組を「よく行った」と回答した学校ほど**各教科の平均正答率が高い傾向**があるが、いくつかの教科で**全国を下回っている状況**が見られる。

〔主体的・対話的で深い学びの実現に向けて〕

- **1人1台端末の効果的な活用と指導と評価の一体化による児童生徒の学びの質の向上**
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、組織的に取組を推進することが大切です。
 - ・ 日常の取組や校内研修などを通じて効果的な端末活用のイメージを教員間で共有できるようにすることが大切です。
 - ・ 学びを通して児童生徒一人一人に資質・能力が身に付いているかを把握し、状況に応じて指導を工夫・改善するなど、指導と評価の一体化を図ることが大切です。

取組のポイント

- 事前の教材研究で生徒のつまずきを具体的に分析
- 生徒の問いや気付きを生かして指導を工夫

実践の概要

事前の教材研究で生徒のつまずきを具体的に分析

【誤答例①】

$$\begin{array}{r} 2 \\ (-6) \times \frac{2x+1}{3} \\ \hline = (-2) \times 2x+1 \\ = -4x+1 \end{array}$$

【誤答例②】

$$\begin{array}{r} 2 \\ (-6) \times \frac{2x+1}{3} \\ \hline = (-2) \times (2x+1) \\ = -4x+2 \end{array}$$

【誤答例③】

$$\begin{array}{r} 2 \\ (-6) \times \frac{2x+1}{3} \\ \hline = \frac{-12x-6}{3} \\ \hline = -4x-6 \end{array}$$

・各種調査やテストの結果、日常の授業における生徒の誤答等から、本単元でよく見られる生徒のつまずきを明確化

同じ教科の教科担任間での情報共有により、これまでの経験も含めてより多くの誤答例から分析できるようになり、分数の文字式の計算における分配法則の活用に生徒のつまずきがあることを明らかにしています。

生徒の問いや気付きを生かして指導を工夫

6/4④ 1次式のいろいろな計算について考えよう。

問 次の計算は正しいか。

$$(-6) \times \frac{2x+1}{3}$$

$$= (-2) \times 2x+1$$

$$= -4x+1$$
 正しい 5
 正しいない 20
 わからない 3

課 1次式の計算で注意すべき点は何か。
 <乗法分配則に直す>

$$\begin{array}{r} (-6) \times \frac{2x+1}{3} \\ \hline = (-6) \times \frac{1}{3} \times (2x+1) \\ = (-2) \times (2x+1) \end{array}$$
 <先に約分>

$$\begin{array}{r} (-6) \times \frac{2x+1}{3} \\ \hline = (-2) \times (2x+1) \end{array}$$
 分子は1の倍数
 ② 分配法則

$$= -4x-2$$
 符号に注意
 ③ ①約分→②分配法則の順で計算する。
 分配法則を利用した計算は特に符号に注意。

- ・分析した生徒のつまずきを参考に、生徒の問いや気付きを引き出すことができる問題を提示
- ・生徒が主体的・対話的で深い学びを通してつまずきを解消できるよう、自ら既習を振り返って考える場面や他者と考えを伝え合う場面を設定
- ・形成的評価を繰り返して新たに把握したつまずきを意図的に取り上げ、学級全体で再考するなど、生徒の状況に応じて指導を工夫

練 $\frac{5a-3}{3} \times (-15)$ の計算の仕方や、注意する点を言葉や式を使って説明しよう。

- ・本時の学びを通して生徒に資質・能力が身に付いたかを見取るための確認問題を提示

誤答を提示し、間違っている部分を考えさせることで、生徒が分数の文字式の計算の中で分配法則がどのように活用されているのかを振り返って確認できるようにしています。

その中で、分配法則が分からない生徒や、分数の文字式が分からない生徒、不注意が多い生徒など、生徒一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導を工夫できるようにしています。

取組の成果

- 日常の授業づくりにおいて複数の教科担任で生徒のつまずきを分析するなど、指導と評価の一体化による授業改善を組織的に推進することができた。
- 生徒が自分の理解できていない内容を自覚して教科書やノートを確認したり、自分の計算を振り返って気を付けることを整理したりする姿が見られるなど、個別最適な学びを充実させることができた。

取組のポイント

- ICTの活用による主体的・対話的で深い学びのイメージを共有
- 教員間によるICTの効果的な活用に向けた協働的な学び

実践の概要

ICTを活用した主体的・対話的で深い学びのイメージを共有



【一斉学習】



【個別学習】



【協働学習】

- ・ 日常の ICTの活用事例 を通信を通して積極的に 発信
- ・ 教師は「目的に合わせて使う」、児童は「文房具のように使う」というICT活用の イメージを共有
- ・ 児童が 自分の考えをアウトプット する場面を重視

「ICTを使う」段階から、「目的に応じて効果的に使う」段階に向けた取組を推進しています。

教員間によるICTの効果的な活用に向けた協働的な学び



【教員の役割分担によるオンライン授業の配信】



【対話を大切にした校内研修】

ICT活用に係る取組を「チーム」で行うことにより、学校全体で教員のICT活用指導力を高めることにつながっています。

- ・ 学年団をはじめとした「チーム」で オンライン授業 を実施
- ・ 教員間の対話 により ICTの効果的な活用を検討

取組の成果

- 授業支援ソフトの効果的な活用により、自分と友達のことを比較したり、主体的に意見を伝え合おうとしたりする姿が多くの学級で見られるようになった。
- ICTを使うことが学習の目的ではなく、豊かな学び（主体的・対話的で深い学び）を実現するためのツールの1つであることについて共通理解が図られたことにより、効果的な活用に向けた教員同士の学び合いが活性化した。